

全34地区にAED を配備しました!



AEDで助かる命があります。町では、救命率や社会復帰率の向上を目指し、全地区にAED(=自動体外式除細動器)を配備しました。

心停止してから1分経過ごとに救命率は10%下がると言われています。まさに時間との勝負。119番通報して救急隊が到着する前にAEDを使用すれば生存率は大幅に向上します。是非、各地区で有効活用をお願いします。町内の公共施設などに配備されているAEDは下記のマップのとおりです。各地区配備のAEDについては、地区ごとに設置箇所が異なります。区内の設置箇所については、地区内で共有していただき、いざという時にご活用ください。

【問】総務課・地域支援室 ☎(56)2220



全34地区と町内の公共施設などに配備されています。
(※このマップは町民の皆さんが「もしもの緊急時に利用できる」ことを目的に紹介していますので、医療目的で利用される診療所などは除いています。)

川根本町

町役場総合支所

音戯の郷、町まちづくり観光協会

本川根小学校

本川根中学校

中川根第一小学校

町役場本庁舎、山村開発センター

中川根中学校、中央小学校

町中川根高齢者
デイサービスセンター

町障がい者福祉サービスセンター
みどりの丘えまつ

町高齢者むつみの郷

町老人福祉センター
憩いの家いずみ

文化会館

創造と生きがいの湯

B&G 海洋センター

町福祉センター

県立川根高等学校

フォーレなかかわね
茶茗館

町高齢者生きがいの郷

中川根南部小学校

川根北分遣所・松下芳樹 救急救命士が教える AED 講座



各地区に配備の AED キット(セコム製)には、使用方法をわかりやすく説明した CD-ROM が備え付けられているので、地区でご覧になって AED に対する知識を深めてください。
地区で実際に練習したり、勉強したい場合は、お気軽に分遣所までご連絡ください。なお、応急手当指導員として町内で活躍されているボランティア組織「EMS 川根本町」の皆さんの紹介も行います。

【問】川根北分遣所 ☎(58)3015



無意識に手があがるのを防ぐため、両肩をたたき、意識があるか確認しましょう。



両手を広げ、大きな声で「誰か来て!人が倒れています!」と助けを呼びましょう。



「あなたは119番へ通報してください!」「あなたは AED を持ってきてください!」と指名しましょう。



耳を近づけ、普段どおりの呼吸をしているか確認をします。



心臓の真上に手がくるように両手を重ね合わせ、絶え間ない胸骨圧迫を行います。



30回連続で「強く、速く、絶え間なく」圧迫し、胸が少なくとも5センチほど強く押し込んでください。



○良い例
垂直に圧迫してください。



×悪い例
斜めや肘を曲げて圧迫しないでください。



のどの奥を広げて、空気を肺に通しやすくするように、気道の確保をします。



AED の箱の中にある人工呼吸キットを使い、人工呼吸をします。(血液や嘔吐物には直接触れないこと)



胸が持ち上がるくらい吹き込みますが、吹き込みは2回までとし、繰り返し胸骨圧迫を行ってください。



AED が届いたら、すぐに使用準備に取りかかり、準備中も心肺蘇生を続けてください。



AED の箱を開け、音声の指示に従って電極パッドを取り出し、準備を進めてください。



電極パッドを貼る位置は絵で表示されていて、胸がぬれている場合は拭き取り、貼り薬ははがしてください。



誰も傷病者に触れていないことを確認し、「ショックを行います。皆さん、離れて!」と注意を促します。



安全を確保してショックボタンを押します。押した後は、救急隊到着まで、心肺蘇生を続けてください。